

*

2020年度

こどもニュース

9.18発行

例年以上に暑く感じた8月が過ぎ、二学期が始まりました。9月に入って少し気温が過ごしやすくなり、園庭を賑わす昆虫たちも大きな声で鳴くセミから軽々と飛ぶトンボへと変わっていき、秋の訪れを日に日に感じられるようになってきました。それでも、まだまだ残暑が辛い日々が続いています。

けれども、そんな中でも子どもたちは元気いっぱいです！

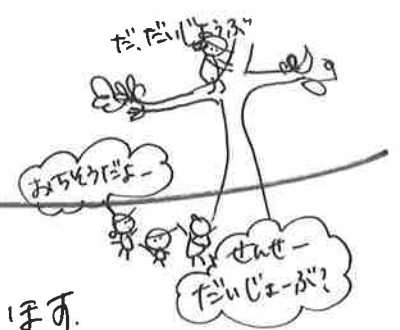
一学期は新型コロナウイルスで外遊びを推奨していたことや暑い日々が続いたこともあり、泥んこや水遊びを楽しんでいた子どもたち。二学期に入ると、気候の変化と共に遊びにも変化が見られるようになってきました。ミストを活用しつつ園庭中央で行っていた泥んこ遊びは、今は園庭南側の井戸や園庭正面の砂場といった水場の近くでのみ見られるようになり、随分と規模が小さくなりました。代わりに園庭中央では年長さんを中心としたメンバーがドッジボールを楽しんでいます。年長さんのDAYキャンプや運動会に向けて、テントの位置を大々的に移動したこともあって広い空間となった園庭中央ではこれまで以上に身体を大きく動かして遊んでいます。

また、二学期に入り、朝の体操が始まりました。9時10分頃から園庭中央に並んで、体操を行っています。まだまだ日差しが暑いですが、子どもたちは音楽が聞こえるとすぐに外へと飛び出していき、元気いっぱいに身体を動かしています。運動会に向けた準備も、体操後にうんどうかいごっことして少しずつ始まっています。

今回のこどもニュースでは、そんな二学期の子どもたちの遊びの様子についてお伝えします！

(ゆか)

観光果樹園「きんじょう」?



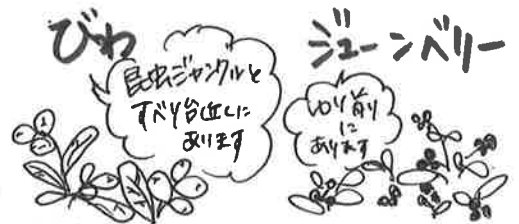
幼稚園には 様々な果樹が 植えられています。

春には ジューンベリーや びわ(今年は 残念ながら 休園中に実り、

小鳥たちが ほとんど 食べてしまいました。

夏には グルベリーや ぶどう。

そして この秋は「栗」が大豊作!



「昆虫ジャングル」に 2本ある栗の木、今年は 南門に近い

1本に たっさんの 栗の実が たりました!

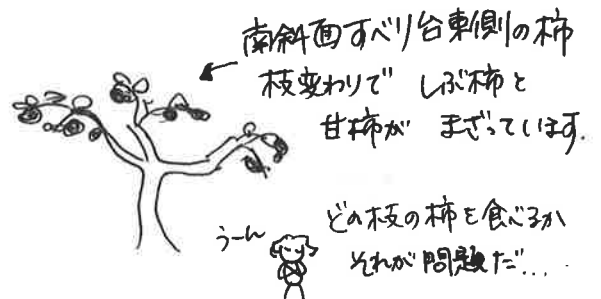
毎朝、子どもたちが 拾って オリーブに 届けてくれた栗。

くるみスタッフの時に「たっさん 拾えたから」と 持って 届けていたのだいた

分も あわせ。 みんなで おひなごいそにデザートとして

いたいただきましたよ。 

ホクホク 甘くて ひんやり!



次に実るのは「柿」

甘柿は ぬるままで しぶ柿は 干して

干柿にして おやつに (まじょう)。

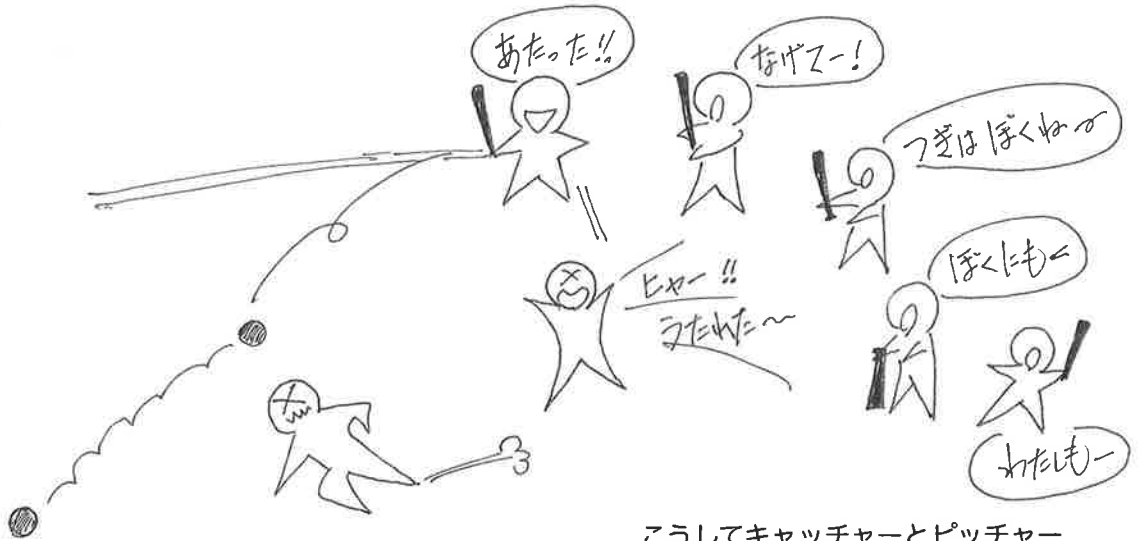
どんた味のよ、お楽しみ!



やきゅう

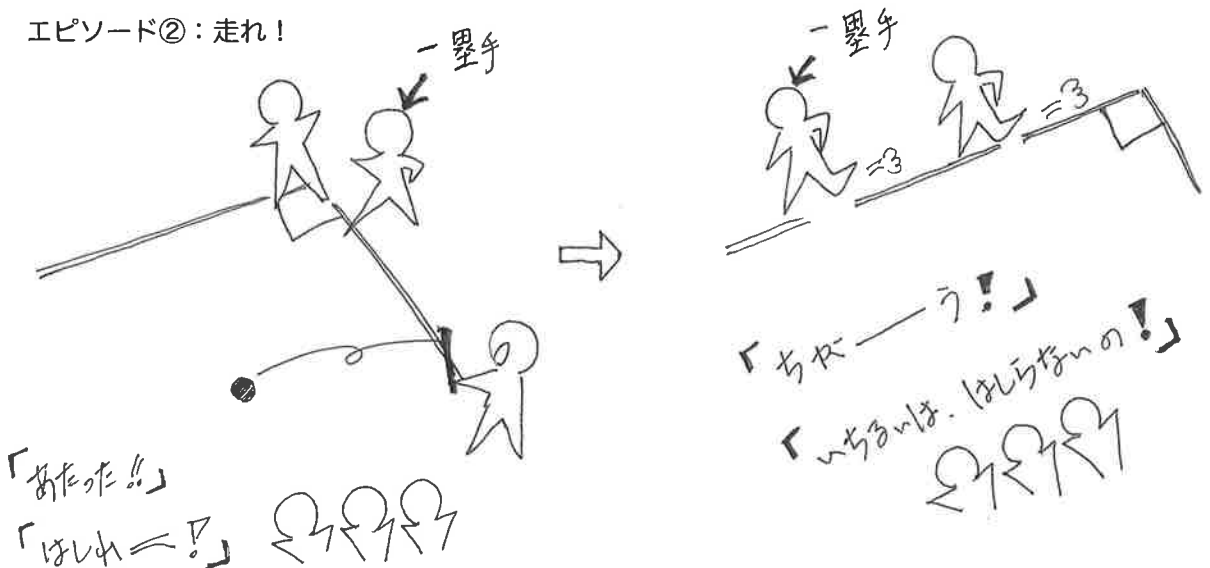
年長の男の子を中心に始まった野球、1学期は“ボールを打ちたい”只々、この思いが強く、塁を回り、走ってホームまで来て1点入るといことは理解していたかどうかそんな様子でした。ところが2学期に入ると、打って⇒走って⇒点が入るといルールを理解し、ゲームそのものの楽しさを感じ始め、試合らしくなってきました。

エピソード①：えっ、一人でピッチャーと守り!? キャッチャーは誰が?



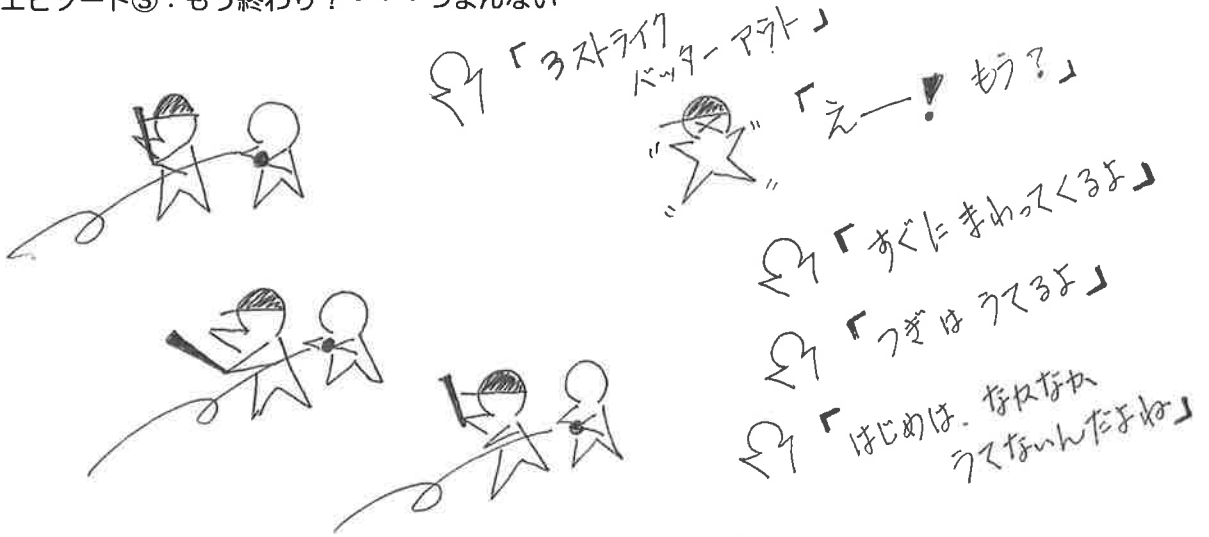
こうしてキャッチャーとピッチャー
時々一塁手をする子が出てきました

エピソード②：走れ!



一時期、「走れ!」の前に名前をつけてたなあ～
「○○○走って・・・」て

エピソード③：もう終わり？・・・つまらない

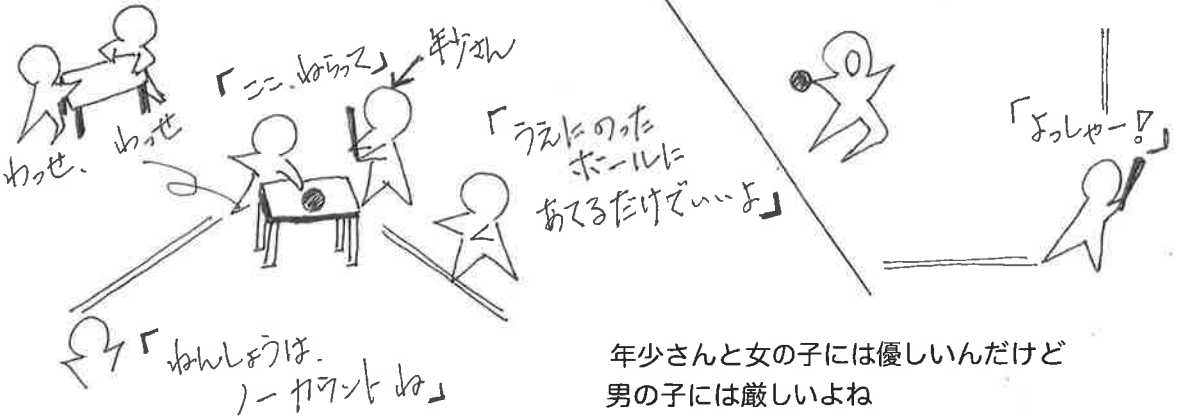


打ちたい気持ち分かるんだよね

エピソード④：特別ルール

「フぎは、わんしやうさんだよ」
「あれ、もってニやうー」

「はじめは、
わんしやうだから いいよね」
「ちかせるよー!!」



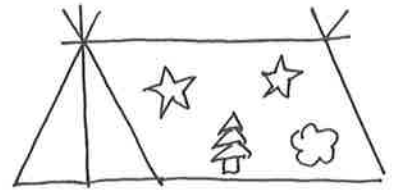
年少さんと女の子には優しいんだけど
男の子には厳しいよね

野球に興味を持つ子が増えてきました。“やったことないけど、打ってみたい”と言って仲間入りする子がほとんどで、遊び続けている子どもたちがリードして教えていく姿が見られます。また基本のルールは変わりませんが、その時その時、メンバーや場所に合わせて、遊んでいる全員が楽しめるように独自のルールも作っています。少し前までは見られなかった姿です。野球そのものを楽しめるようになり、余裕が出てきたり、以前の自分と重ねて気持ちが分かるようになったからの姿だと成長を感じます。





お城？テント？



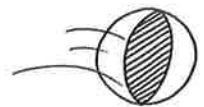
☆やりたいことをみんなで話し合えることはステキ♡

帰りのあつまりで次の日の遊びを相談していると、年少の女の子から「エルサのお城を作りたい！」という声が上がりました。材料は何を使って作りたいかな？どうやって作りたいかな？と聞くと「・・・。」すると年長さんが「年長さんでテント作ったみたいにならたらどう？」と教えてくれました。「こうやってさあ」と教えてくれましたが、年少さんは・・・。話し合いの中に年少さんも入っていることが素晴らしい！そしてわからなければみんなで考えることもステキ！！

☆いざ作り始めると・・・。

翌日早速お城（テント）作りが始まりました。年少さんだけでどうなるのかな？と心配していましたが、ちゃんと年長さんがリードしてお手伝いしてくれました。そして年中さんも年長さんのフォローに回り、当の年少さんは・・・。嬉しそうに見ていたり、時々いなくなったり、出来上がると一番にテントの中に入っておうちごっこを楽しんでいました（笑）それを許される年少さんは幸せです！年長さんがテントを作った経験がまた新しい遊びに生かされていく。一生懸命作る年長さんの姿を“すご～い！”と憧れの眼差しで見ている年少さんと、年長さんのお手伝いをしながら作り方をよく見て、来年自分が年長さんになったら作るんだ！という気持ちの年中さん。一つの遊びを通してそれぞれの学年の思いを感じ、縦の繋がりの良さを感じることができました。

ドッジボールを楽しむ人増加中！！



☆女の子や年中さんも参加し始めました

最近再びドッジボールを楽しむ子が増えてきました。男の子が多かったのですが、段々と年中長の女の子たちも参加するようになりました。男の子に交じて女の子も負けていません。ボールを果敢にとる姿がとってもカッコいい！！ある年中の女の子がほぼ初めてドッジボールに参加したのですが、相手チームの友達が投げたボールを見事キャッチしたことで、自信がつき、明日もやりたい！と次の日も積極的に参加している姿が印象的でした。

身体を動かして遊ぶ気持ちの良さを感じ、ルールのある遊びを通して大勢の友達と遊ぶ楽しさや、友達関係を深めていけたらと思います。

(Aki)

⑤



アクセサリ屋さんで～す♡



1学期から、いろいろなお店屋さんを開店している子どもたち。2学期になって盛り上がっているのはアクセサリ屋さんです♪

きらきら光るボタンやビーズを使って指輪を作ったり、トイレットペーパーの芯にリボンを巻いてプレスレットを作ったり。お客さんで来店した子どもたちも、自分のオリジナル商品が作りたくなり、いつの間にかお店屋さんに変身!!男の子たちは、盛り上がっている女の子たちの姿に「何してるの?」と興味津々。「ママのために♡」「僕の宝物にする」と言って買っていく子もいました♡

お家で眠っているボタンがあったら、寄付していただくと嬉しいです♪



カプラでお城を作りたい☆

カプラって知っていますか?カプラは、フランス生まれの造形ブロックです。パーツはたった1種類。1枚の同じ大きさの木片を組み合わせて、建物や乗り物などを作っていきます。今、年中の男の子たちが中心となって、ひつじぐみの小部屋でカプラを楽しんでいます。最初は、パーツを並べて迷路のようにしたり、線路を作っていた子どもたち。そこへ年長さんがやってきて、スパイラルタワーのような塔を作りました。すると、見よう見まねで年中さんや年少さんも挑戦!平面よりも立体は難しい…。崩れる時の音が面白くて、「あらら～こわれちゃった」と言いながらも嬉しそうにしている年少さん。高く高く積み上げようと年中さんは頑張りますが、お友だちの足が当たったり、見に来た年少さんが触って崩れてしまったり、なかなかうまくいきません。でも、決して諦めず試行錯誤しています。作りたいのは、大きなお城!!完成する日が、待ち遠しいっ☆

と、思っていたのも束の間…。この原稿を書いている間に、『カプラルーム』は、『おばけ屋敷』に変身しました。年長さんがキャンプで肝試しをすることを知った年中さんが、オバケごっこを始めたのです。子どもたちは、様々な新しい情報を取り入れ、次々と遊びに変化させていく天才ですね。カプラは復活するかな?おばけ屋敷は続くかな?子どもの興味、関心のスピードに、私が置いていかれないようにしなくちゃと思う毎日です。



みつあみ



1学期、年長さんが三つ編みで縄跳びを作っていたのを、間近で見ていた年中さんから「私もやりたい！」の音がたくさん挙がりました☆

毛糸やビニールひもを使って、三つ編みに挑戦！

「あか、むらさき、しろ、あか、むらさき、しろ…」と色の順番を口に出して確認しながらじっくり取り組んでいました。



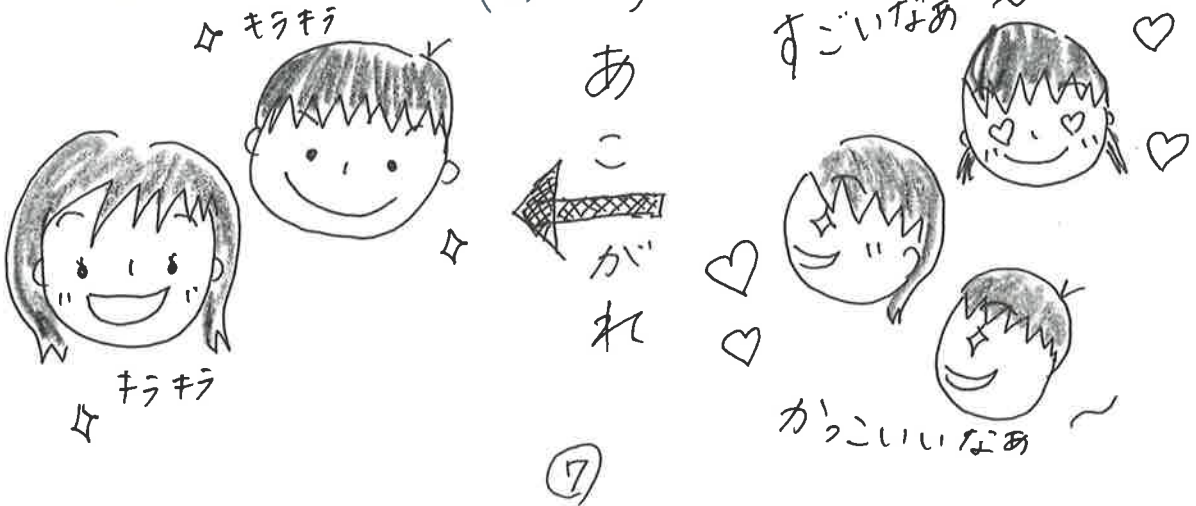
でもやっぱり、とっても難しい…。すぐに「あ～わからなくなっちゃった…」「次どの色だっけ?」「も～できないよ～」と、気持ちが沈みかけた子どもたち。そんな声を聞いてか「一緒にやる?」「次はこの色だよ!」と年長さんたちがいつの間にか集まってきて、手助けをしてくれたり、アドバイスをしてくれていました♪年長さんに教えてもらいながら、繰り返し挑戦し、初めは短い三つ編みでしたが、今ではとっても長い三つ編みを編めるようになりました!できた三つ編みは、髪の毛にしてみたり、プレスレットにしてみたり、ステッキにしてみたり、色々なものに変身しています。



そして、そんな年中さんの姿を見て「いいなあ～私もやってみみたいなあ」と興味を持ち始めたのは年少さん!!まだ一人で編むのは難しいですが、年長さんや年中さん、保育者と一緒に少しずつ挑戦しています。

“すごいなあ～”“あんな風になりたいなあ”と憧れる存在が近くににいるというのは、縦割り保育の良さだなあと子どもたちの関わりを見て、日々感じています。憧れが“やってみよう!”“やってみたい!”という気持ちになり、大きくなることへの期待に繋がっていくのだと思います。

これからも、遊びや様々な生活場面での子ども同士の関わり・育ち合いを大切にしていきたいです☆ (あゆみ)





にじぐみ



お部屋が広くなりました！

8月28日ににじぐみの保育室増築工事が終わり、わかばからまたお引越しをしました。二回目のお引越しは子どもたちも慣れた様子で、新しくなったお部屋にワクワクしながら引き出しやソフトブロックを運んでいました。その様子はさながらアリさんの行進？一列に並んでちょこちょこ荷物を運ぶ姿は本当に可愛らしかったです。その姿を見たお兄さんお姉さんたちは、もちろん張り切ってお手伝いに来てくれました。次々にお手伝い隊が来てくれたのであっという間にお引越しは完了！みんなに感謝感謝です♪特に元になじぐみだった子たちは広くなったお部屋に目を丸くしていました。「ぼくたちの時はここにドアがあったよねー」「あれー!?門がなくなっちゃった！」と懐かしんだり、驚いたりしていました。門が狭くなり、降園の際にはご面倒をおかけしていますが、その分広くなったお部屋で子どもたちはのびのびと遊んでいます。工夫一つで保育活動の幅も広がりそうです！

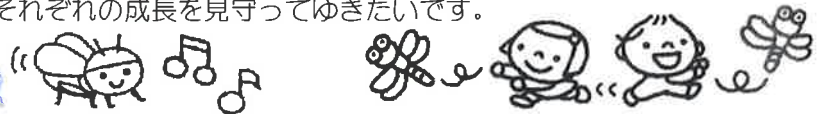


新しいお友だち&先生・よろしくお祈いします

9月から新しいお友だちと先生を迎えました。入園を楽しみにしていた子は慣らし保育の時間が短すぎるようで、「まだ遊びたかったー！」とお片付けの時間に泣いてしまう子もいれば、おうちの方と離れて寂しくなって幼稚園中に響き渡る声で泣いている子もいます。その涙につられてもらい泣きをしてしまう在園児の子も…◎しかし、泣いている子も楽しそうに遊んでいるお友だちの様子に気づくと、少しずつ落ち着いて、やりたい遊びを見つけて遊び出します。少しずつ新しい環境に慣れて、安心して思いきり好きな遊びを楽しんでほしいと思います。

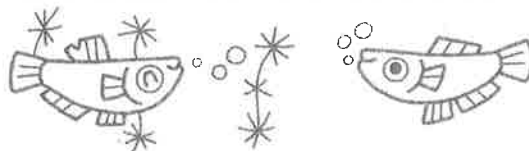
在園のお友だちは新しく増えた先生やお友だちの名前を覚えるのも大変！「あたらしいせんせい！」と呼んでみたり、気になるお友だちの名前はすぐ覚えて「〇〇ちゃんまだかなー」と登園を楽しみにしている子もいます。反面、新しい子のお世話に追われている保育者の気を引きたくて、わざとゆっくりお支度をしている子もいたりと様々な姿が見られます。ひとりひとりとのかりを大切にしながら、それぞれの成長を見守ってゆきたいです。

いろんな生き物がいるね



夏の間ずっと響き渡っていたセミの鳴き声がヒグラシの哀愁のある鳴き声に変わりました。すると園庭には夏トンボに混じって秋トンボも舞うようになりました。「虫をつかまえない！」とお兄さんたちの真似をして虫かごとタモをもって勇ましく昆虫ジャングルに向かう子も。バッタやコオロギを見つけて一生懸命追いかけています。おさんぽの途中では大きなカマキリに出会ったり、草むらから聞こえる虫の鳴き声にも耳を澄ました。自然に恵まれた幼稚園でたくさんの命に触れあい、大切に思う気持ちを育ててほしいと願っています。

また、お部屋には頂いたメダカの赤ちゃんがいます。こちらはまだ小さすぎて子どもたちも「なにがいるの？」と不思議そうにしています。大きくなったメダカに気づいたら皆びっくりするかも!?今から楽しみです♪



(Akie★)